

Web でも読めます！

# Library

令和4年3月号

秋田北高校図書委員会



いよいよ春の気配が感じられるようになってきましたね。

今年度最後の Library をお届けします。

今回は、1年生5人が新着図書を紹介するほか、図書委員が選んで買った本、春のブックバックなどもご紹介します。

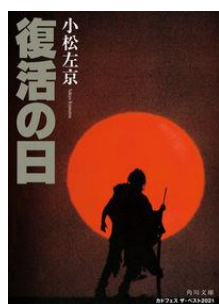
春休み前に、ぜひ図書館へ！



## 小さなガラス工房で繰り広げられる、ある兄妹の物語。

この本は、どこまでも純粹無垢な兄と、その兄との距離をどうやっても縮めることのできない妹が、ゆるゆると歩み寄っていくあたたかい物語です。読み終わった後、優しい気持ちになり感動する本なので、ぜひ図書館で借りてみてください。

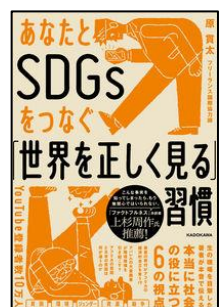
『ガラスの海を渡る舟』 寺地はるな著 PHP 研究所 2021年



## 人間の葛藤と決断を描く

『日本沈没』に並ぶ、小松左京の代表作。吹雪のアルプス山中から雪解けと共に広まった謎の病原体によって、人類は滅亡の危機を迎える。“復活の日”を夢見て、残された人間は何を選び、何のために生きるのか。

『復活の日』 小松左京著 角川書店 2018年



## SDGsについて学ぼう

社会生活で「SDGs」という言葉に接する機会が増えてきました。この本では、世界が抱える問題と、SDGsの関わりを簡潔に、かつ丁寧に説明しています。皆さんも、社会に対する問題意識を持ってSDGsに目を向けてみませんか？

『あなたとSDGsをつなぐ「世界を正しく見る」習慣』

原貫太著 KADOKAWA 2021年



## 存在しない本を読んでみませんか？

この本には存在しない本がたくさん載っています。一枚の写真からタイトルと著者名を決め、それをデザインし、ほんのカバーとして巻けば、中身が真っ白の一冊の本となる。これがここでいう存在しない本です。この本には、存在しない本が読めるように、ショートショートが書き下ろされています。すべてが斬新で新感覚を楽しめるので、興味のある人はぜひ借りてみてください。

『ない本、あります。』 能登崇著 大和書房 2021年

## 「ちびまる子ちゃん」が母親に

悪阻期で気分がどん底であっても仕事のしめ切りは待ってくれない……。

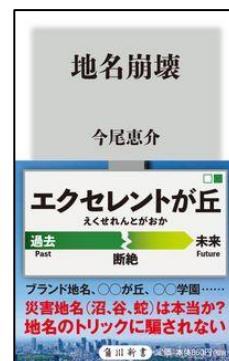
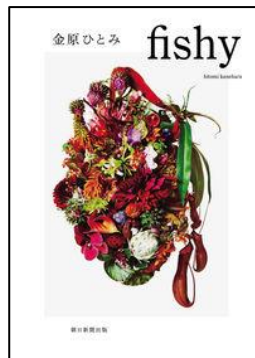
妊娠発覚から出産まで、くだらなくて時々壮大なさくらももこの十ヶ月間が書かれています。番外編では、ビートたけしさんとの対話もあります。

『そういうふうに行っている』 さくらももこ著 新潮社 1999年



# 図書委員が選書した本が入りました！

北高図書館にあったらいいと思う本を、図書委員が選びました。ぜひ読んでみてください。



『心理学 BEST100：世界最先端の研究が教える新事実』

内藤誼人著 綜合法令出版 2021年

『お天道様は見てる尾島春夫のことば』

白石あづさ文・写真 文藝春秋 2021年

『fishy』金原ひとみ著 朝日新聞出版 2020年

『地名崩壊』今尾恵介著 KADOKAWA 2019年

『哲学的な何か、あと科学とか』

飲茶著 二見書房 2017年

『「ダ」ったらダールだ!』

ロアルド・ダール著 評論社 2007年

『妄想銀行』星新一著 新潮社 2002年 など

春休み前は、1人5冊まで貸出OK！

返却期限は4月5日（火）

始業式の日、忘れずに本を持ってきてください。

春休み中も、図書館は開いています。

どうぞご利用ください。

（平日 10:20-16:50）

## 春のブックパック貸出中

春を感じる本、前向きな気持ちになる本、心がぽかぽかする本など、図書委員が春におすすめする本2~3冊入り。中身は借りてみてのお楽しみです。



## 館内の展示

- 5分で読めるショートショート
- ハッピーエンドの物語
- ことばを知る
- 100年ドラえもん（タイムふろしきもあります）
- 約束のネバーランド
- 学校司書 POP 展示「いのち」（県内13校合同企画）

↑↑↑

○学校司書 南都より：

私のおすすめは、さくらももこさんの『**そういうふう**にできている』です（今回、図書委員さんも紹介してくれました）。高校生のときに学校図書館で出会い、◎×年後、出産前にまた読み返した本です。あんまり面白かったので、その後出産を控えた友人2人にも贈りました。皆さんにもいつか、子どもの誕生をドキドキしながら待つ日が来るかもしれません。爆笑しながらさくっと読んで、読後はじんわりあたたかな気持ちに！ぜひ一度手に取ってみてください。